

**第2期宮城県教育振興基本計画の中間見直しのための
「こどもアンケート調査」実施結果**

■ 調査の概要

<調査の目的>

学校や先生、周りの大人に望むことなどについて、児童生徒に広く意見を聞くことにより、第2期宮城県教育振興基本計画の見直しの参考としたもの。

<調査対象>

小学4年生から高校3年生の児童生徒（特別支援学校にあつては小学部4年生から高等部3年生）
※ただし、小学1～3年生も回答可とした。

<調査方法>

Web上でのアンケートフォームを活用して実施（回答は任意）

<実施期間>

令和5年9月19日から令和5年10月6日

<周知先>

県内の国公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校）
及び私立学校

<調査項目>

(1) 学年

(2) 居住地域

(3) 「学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと」について、以下の項目から、当てはまるもの全てを選択

- 勉強がもっとよくわかる授業や自分の力に合わせた授業がおこなわれること
- タブレットやパソコンをつかった授業がたくさんおこなわれること
- むずかしいことや専門的なことでも、自分が興味をもったことは何でも学べること
- 職業体験や自然体験など、体験活動の時間がたくさんあること
- 音楽や絵などの芸術にふれる時間がたくさんあること
- 楽しく運動できる授業や活動がおこなわれること
- 障がいがあったりけがや病気になったりしても、きちんと勉強できること
- なやんでいるときやつらいときに気がついてくれたり、相談にのったりしてくれること
- 先生とコミュニケーションをとれる時間がたくさんあること
- 学校に行けなくなっても、学習の場所や他の人とかわれる場所がきちんとあること
- その他（※内容を記述）

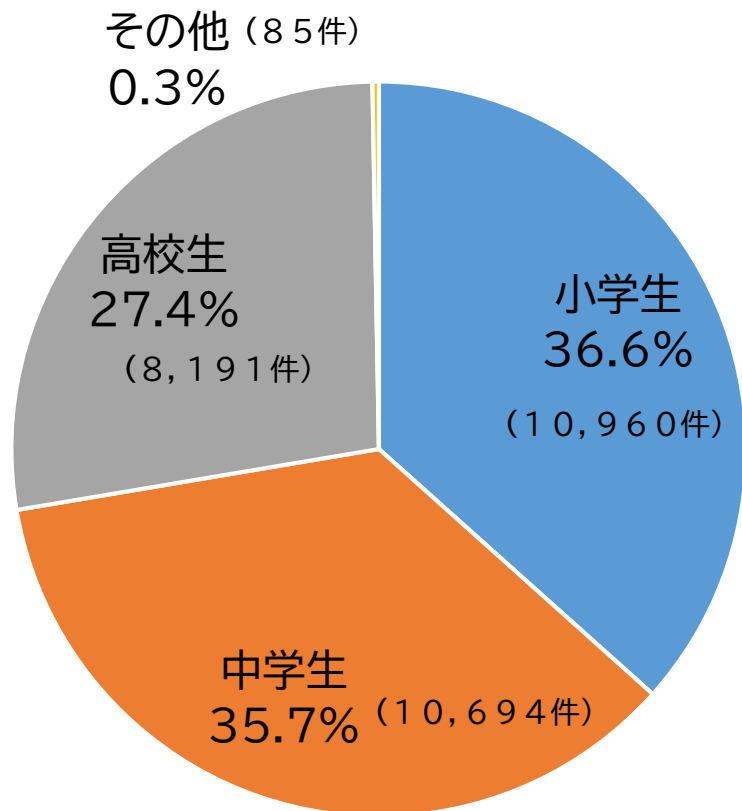
(4) 学校や教育をよくするためのアイデアや、当該アンケートへの感想等についての自由記述

■ 結果概要：回答者の学年

<回答数>

29,930件 （参考）R4学校基本調査における小学4年生から高校3年生の児童生徒数：約17.3万人

<学年>

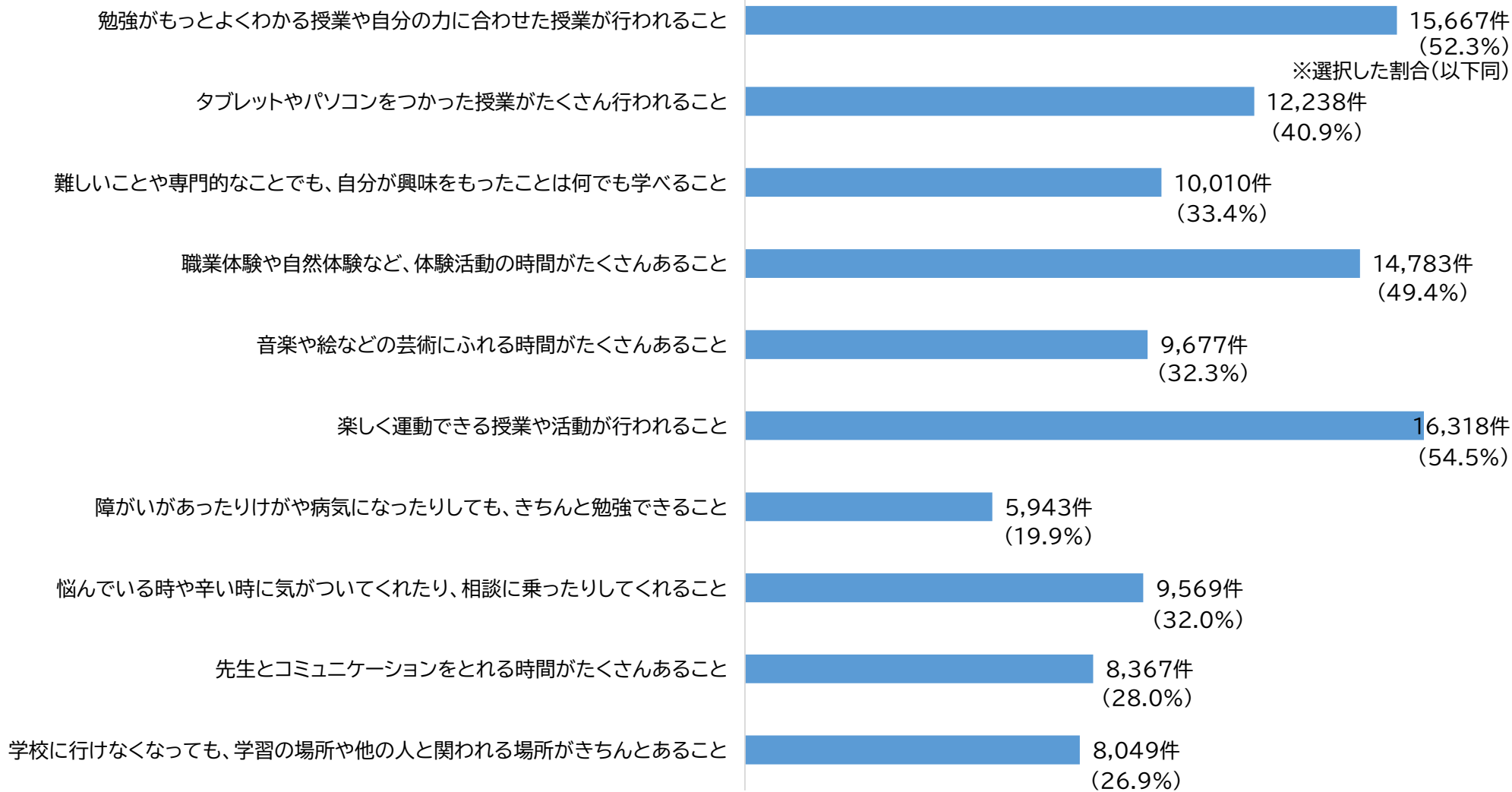


学年	回答数	割合
小学4年生	3,607件	12.1%
小学5年生	3,902件	13.0%
小学6年生	3,451件	11.5%
中学1年生	3,435件	11.5%
中学2年生	3,661件	12.2%
中学3年生	3,598件	12.0%
高校1年生	2,787件	9.3%
高校2年生	2,402件	8.0%
高校3年生	3,002件	10.0%
その他※	85件	0.3%

※「小学校1～3年生」と「その他」を選択した回答者

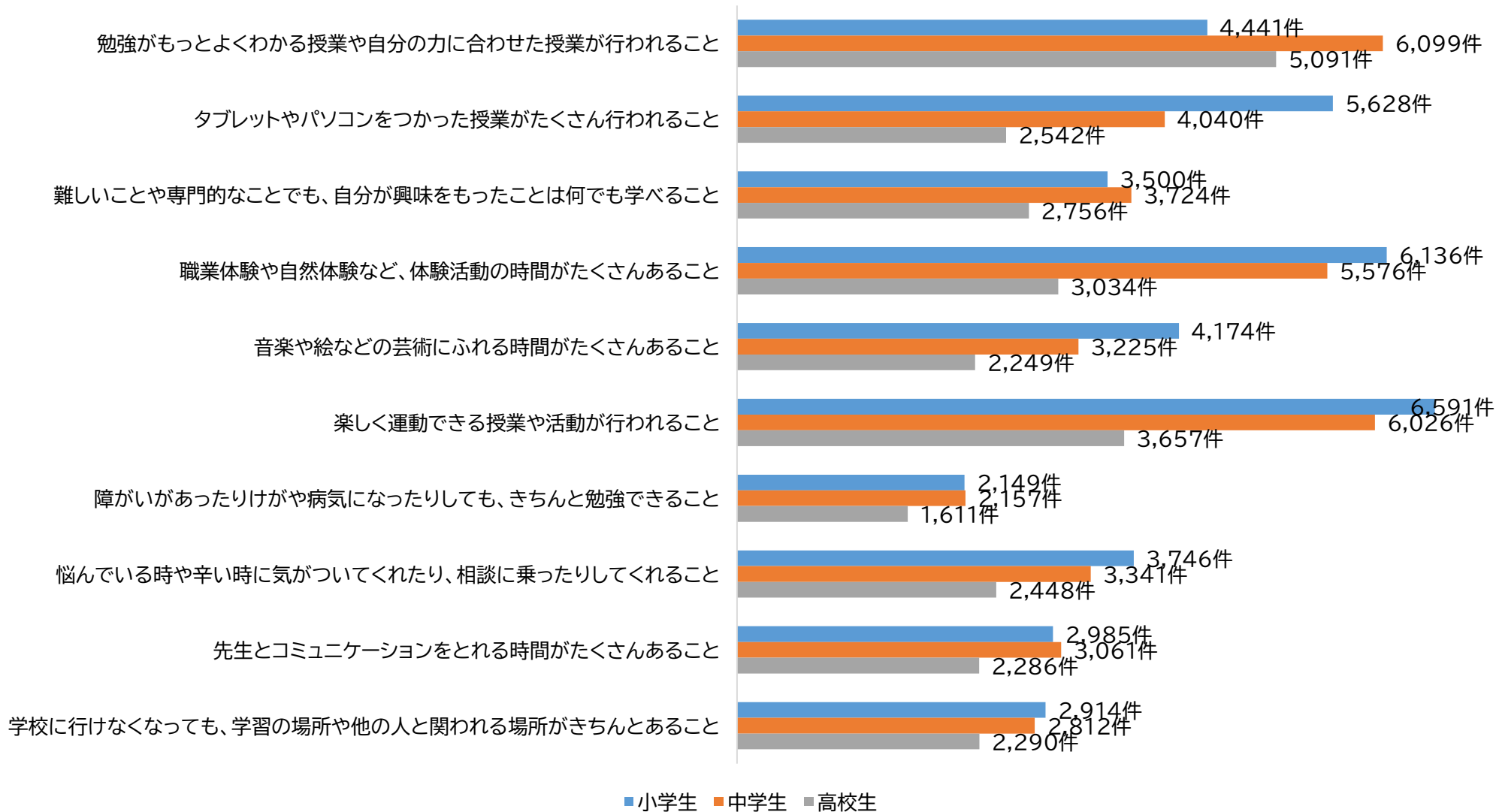
■ 結果概要：学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと(選択式)

<全回答> n = 29,930件



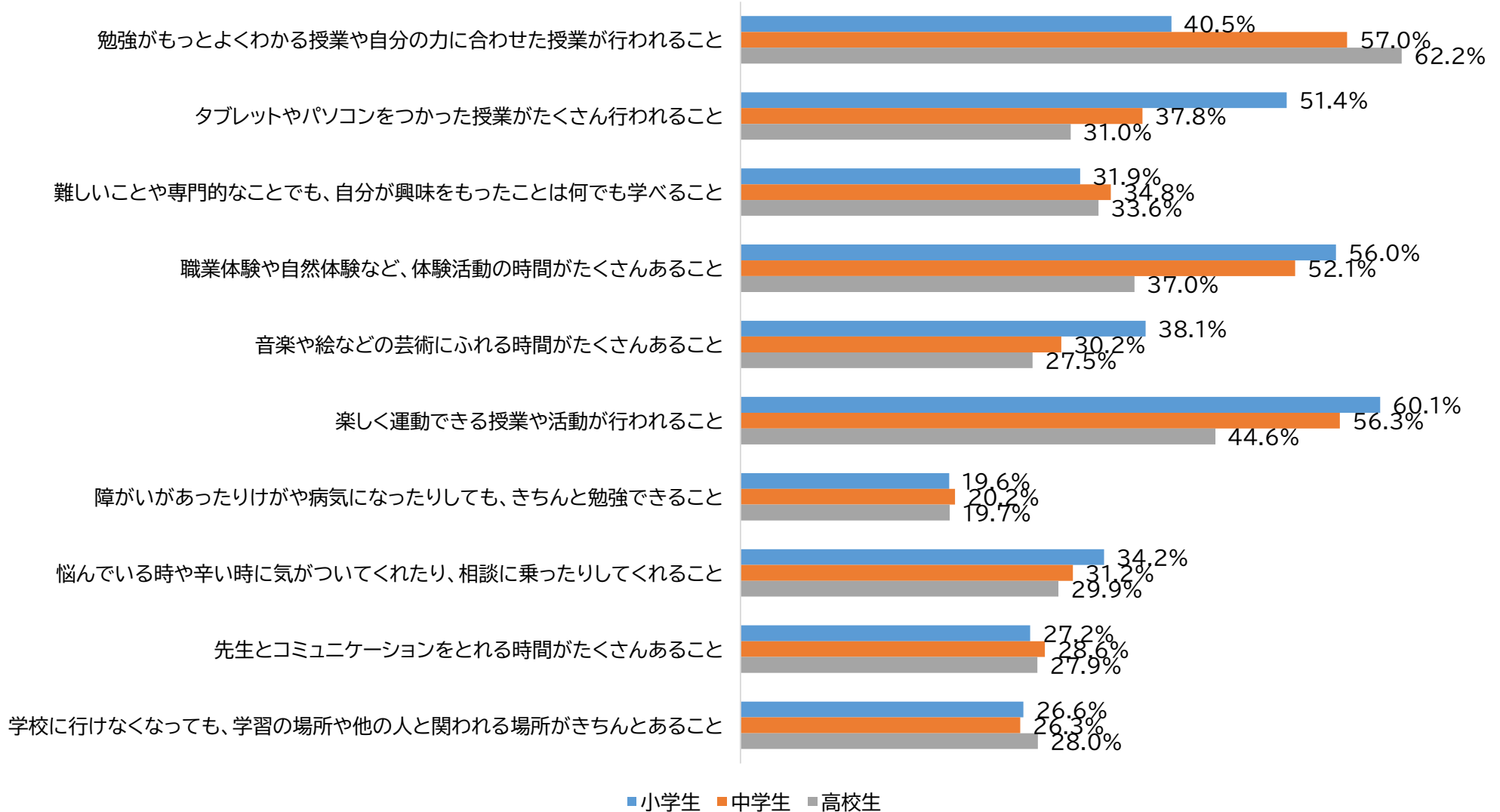
■ 結果概要：学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと(選択式)

<小・中・高の別：選択した数> 小学生：n=10,960件 中学生：n=10,694件 高校生：n=8,191件



■ 結果概要：学校に望むこと、先生やまわりの大人にしてほしいこと(選択式)

<小・中・高の別：選択した割合> 小学生：n=10,960件 中学生：n=10,694件 高校生：n=8,191件

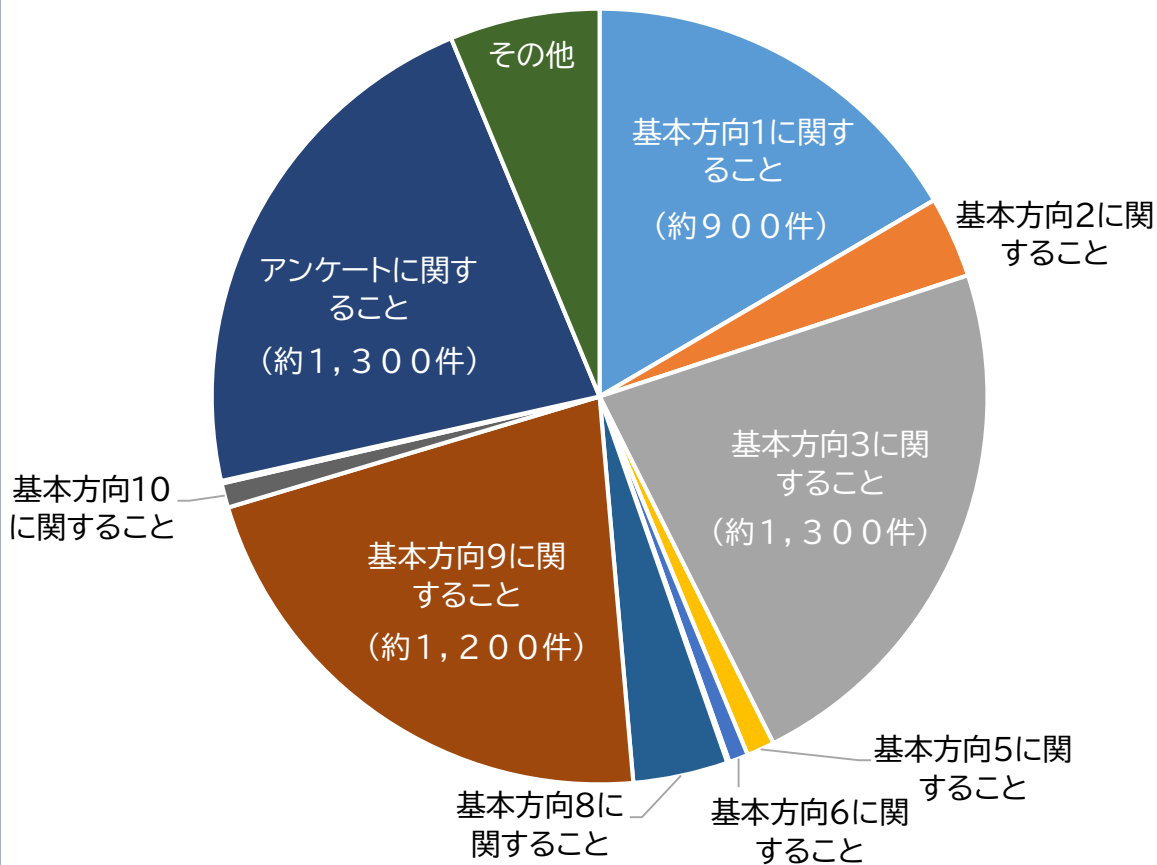


結果概要：学校や教育をよくするためのアイデアや、アンケートへの感想等(自由記述の件数)

<自由記述の件数>

約5,700件 ※選択肢の「その他」に記述された内容も含む

<分類>



分類	割合
基本方向1（豊かな人間性と社会性の育成）に関すること	16.5%
基本方向2（健やかな体の育成）に関すること	3.4%
基本方向3（確かな学力の育成）に関すること	22.7%
基本方向4（幼児教育の充実）に関すること	0.0%
基本方向5（多様なニーズに対応し誰一人取り残さない教育の推進）に関すること	1.2%
基本方向6（社会の発展を支える力と郷土を愛する心の育成）に関すること	0.8%
基本方向7（命を守る力と共に支え合う心の育成）に関すること	0.1%
基本方向8（学びの保障と教育機会の確保）に関すること	4.0%
基本方向9（安心して楽しく学べる教育環境づくり）に関すること	21.8%
基本方向10（学校・家庭・地域が連携・協働して子供を育てる環境づくり）に関すること	1.0%
基本方向11（生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進）に関すること	0.1%
アンケートに関すること	22.2%
その他	6.3%

■ 結果概要：学校や教育をよくするためのアイデアや、アンケートへの感想等(自由記述の主な内容)

<体験活動に関すること(約200件)>

- 学校で学ぶ授業だけでなく、自然や社会について実際に体験してみる授業をもっと増やすと、子どもの考えがもっと深まっていくと思う。(小学生)
- コロナがきっかけでいろいろなものができなくなっている。もっと学校について発信し地域の方からの協力を得るべき。これこそが「開かれた学校」だと思う。(中学生)
- なりたい職業があっても実感が湧かない人は珍しくないと思う。調べ学習だけでなく、体を使って職業体験を実施することで、その職業の新たな魅力ややりがいを見つけ、職業を本気で目指しやすくなると思う。(高校生)

<いじめに関すること(約200件)>

- 学校でのいじめや不登校をなくすためのアンケートなどを実施して、学校の生徒や児童の意見を取り入れる機会をつくってほしい。(中学生)
- なくならないイジメや嫌がらせを大人も子供ももっと真剣に考える授業が必要。未来を変えるには自分が変わる事の大切さを教えてほしい。(高校生)

<体力・運動能力に関すること(約150件)>

- もっと体育の授業を苦手な人も活動増やしたい。(小学生)
- 外遊びの時間を作る。(中学生)

■ 結果概要：学校や教育をよくするためのアイデアや、アンケートへの感想等(自由記述の主な内容)

<授業づくりに関すること(約900件)>

- 授業の始め2分や終わり5分前などに楽しいゲームなどを取り入れてほしい。(取り入れてくれている先生もいて授業が楽しく感じている。)(小学生)
- 協力して問題を解く時間を増やした方がいいと思う。お互いの意見を聞き合い、それを基準として話して回答に辿り着くことにより、それが印象に残って覚えると思った。(中学生)
- 授業の最初に、どこまで進みたいかや、どんなことをするかなどを簡単に説明して欲しい。また、問題を解く時などにタイマーなどをセットしてただらと時間が過ぎないように調整して授業を進めてほしい。(高校生)

<ICT活用に関すること(約350件)>

- タブレットがあるのに有効活用出来ていない時の方が多いので、上手く活用できる工夫をした方が良くと思う。(小学生)
- タブレットやパソコンを使える場面は多いし、使った方が早くできることも多いので使ってほしいが、得意でない先生や子どもがいて時間がかかることもあり、健康にも響くこともあるので、その人にとってより効率的な方法をとることができるようにしてほしい。(高校生)

<特別支援教育、多様な個性の尊重に関すること(約50件)>

- 学習教材として、模型や触察出来るものがあると良い。(視覚支援学校通学中の息子より)(小学生)
- いじめや障がい者などへの偏見を無くすために小学校からインクルーシブ教育を導入。お互いを知らないから共助の気持ちが芽生えないし、アプローチの仕方がわからないこともあるのではないかと思う。(高校生)

■ 結果概要：学校や教育をよくするためのアイデアや、アンケートへの感想等(自由記述の主な内容)

<専門教育、大学進学に関すること(約50件)>

- 中学校でも、もっと専門的な知識や最先端の知識について学ぶことができ、体験することができるようになってほしい。(中学生)
- 大学などの難しい内容を放課後にやるなど、もっと大学進学を見据えた授業を進めるのもいいと思う。(高校生)

<不登校児童生徒支援、相談体制、学びの保障に関すること(約200件)>

- 学校に精神的な事情やその他の事情があって行けない子のために、リモートでの授業を取り入れたら良いと思う。授業が終わってもリモートをつないでいれば友達とも話せるし、授業での遅れなどを防ぐ事ができるかもしれない。(中学生)
- 学校に通っている上での不安を生徒が1人で背負ってしまわないように、先生に話しやすい場や機会を設けた方がいいと思う。知らないスクールカウンセラーよりも信頼のある先生のほうが話しやすいと思う。(高校生)

<学校のルール・環境に関すること(約700件)>

- 朝の時間になにか楽しいことを用意していたり、子供たちに聞いてやりたい遊びなどを聞いてやってあげたりするともっと学校に来たい、学校が楽しみになったりと思う。(小学生)
- 校則を緩くすれば生徒たちの個性が出て、気持ち的にも縛られてる感がなくなってよりよく過ごしやすいと思う。(高校生)

■ 結果概要：学校や教育をよくするためのアイデアや、アンケートへの感想等(自由記述の主な内容)

<教員に関すること(約450件)>

- わからないって思っても先生に話そうと思っても恥ずかしくて話しかけられない時があるから、自分からいかないといけないけど、いけない時は先生たちからも来てほしい。(小学生)
- 生徒達のことはもちろんだが、教育現場に立っている先生方の勤務時間などの待遇面やメンタルケアなども改善していただければ良いのではないかと思う。先生方あつての教育現場なので。(中学生)
- 週に一度先生との余談タイムがあつたら嬉しい。30分ぐらいでクラスのみならず担任の先生や副担任の先生と勉強以外のことを話す時間があれば、コミュニケーションを取ることも可能だしさりげなくクラスメイトのことについても知れると思う。(高校生)

<アンケートに関すること(約1,300件)>

- このようなアンケートがあれば、学校に足りないことをちゃんと理解できるので、アンケートは続けてほしい。(小学生)
- このような取り組みで来た意見を積極的に取り入れて行った方が、この学校にもメリットがあるのではないかと思うし、もっと楽しい学校生活が送れると思うので、このような活動をもっと多くして行った方がいいのかと思う。(中学生)
- あまり自分から意見を他の人に言ったりする機会は少ないなと感じていたので、このアンケートを通して少しでもこれからの授業に組み込んでいってほしいと思う。(高校生)